

鳥川ホタルの里 石仏めぐり

【29】慈徳院

- 30: 竹生島
- 31: 長命寺
- 32: 観音正寺
- 40: 地藏菩薩

【38】三界万霊塔
【36】釈迦三尊像 33: 谷湯山

【33】六地藏
【32】十一王堂

【34】阿弥陀如来

- 25: 清水寺
- 23: 藤尾寺
- 【35】弘法大師像
- 19: 華堂
- 17: 六波羅蜜寺
- 15: 観音寺
- 13: 石山寺
- 12: 岩間寺
- 10: 三室戸寺
- 8: 長谷寺
- 4: 頼尾山
- 2: 紀三井寺

【30】西国三十三所観音巡拝所 (1:~33:)

- 26: 法華寺
- 24: 中山寺
- 22: 総持寺
- 21: 六太寺
- 20: 香峰寺
- 18: 六角堂
- 16: 清水寺
- 14: 三井寺
- 【31】虚空蔵菩薩
- 11: 上醍醐寺
- 9: 南門堂
- 7: 岡寺
- 5: 葛井寺
- 3: 粉河寺
- 1: 那智山

西国三十三所観音巡拝所 (慈徳院内 1:~33:)
江戸時代に盛んになった観音札所巡拝は鳥川にも広がった。しかし、当時の社会情勢では実現できる人は少なかった。そこで、各霊場本尊の石像を身近に祀り(分霊)、それを参拝することにより実際に巡礼することの代わりとした。慈徳院内には三十三基の観音像が並んでいる。

庚申塔 【12、43、48、63、77】
庚申信仰は、室町時代から江戸時代にかけて各地で盛んになり鳥川でも熱心に行事が行われた。現在鳥川町内に残っている庚申塔は五基で、一基が庚申文字塔であり、残りの四基が石像である。各組においては庚申様の掛け軸を持っていて、二ヶ月に一度まわってくる庚申の日に組の当番の者の家に集まってお祭りをする。

地藏菩薩 【13、20、40、44、59、60、68、78、80】
地藏菩薩は死後の世界の救済だけでなく、「盗難除け」から「イモ取り」まで、人々の様々な願いを込めて信仰されてきた。【44】の地藏菩薩には、「縫」の文字が見られる。裁縫の上達を願ったものであろうか。

巡礼供養塔 【8、26、37、64】
江戸時代、観音信仰が庶民の間にも広がり、信仰の対象を観音札所や四国遍路などに定めて巡拝する諸国巡礼が流行した。無事に参拝が成就するとその証として地元で満願の供養塔を建てて感謝し、身近で拝める対象とした。鳥川町内にも四基の巡礼供養塔が現存している。

馬頭観音 【2、4、7、23、24、28、45、49、52、55、57、76、79】
馬頭観音は道端でよく見かける観音で、頭上に馬の頭を頂くのが特徴である。信仰の対象というよりも愛馬の墓標として建てられることが多かった。牛の場合もあり、牛馬が大切な労働力であったのでその死を悼んで供養したものと考えられる。

